

1月17日は防災とボランティアの日！ 防災講演会も開催します。

お知らせ

平成7年1月17日に発生した「阪神・淡路大震災」で、ボランティアによる救援活動が成果をあげ、これを契機に毎年1月17日は「防災とボランティアの日」、1月15日から21日までは、「防災とボランティア週間」と定められました。災害時のボランティア活動、自主的な防災活動についての認識を深めること、災害への備えの充実強化を図ることが目的とされています。

大規模災害時、行政等による支援が機能するまでに3日程度かかると

いわれています。行政職員も被災者となってしまうというのが理由の一つです。

ここで、自分自身の身の安全は自分で守るという「自助」、地域一帯でお互いに助け合うという「共助」という考えが重要になります。住民一人ひとりが、「自分や家族等の安全を確保した後は、地域一帯で助け合う」という精神を持っている地域は減災できるはず。この機会に、地域の防災について考えてみませんか。

《防災講演会》

雨が降っていないのに、大雨警報が発表されるのはなぜ？「震度」と「マグニチュード」の違いは？

…よく耳にするけど意外と知らない地震や風水害のことを横浜地方気象台の職員が分かりやすく説明します。どなたでも参加できます。

日時 1月17日(木)14時30分～16時30分

場所 町消防署地下講堂

問合せ 総務課防災係 ☎内線561・562



やらなくなった「本」と「Tシャツ」で被災地を応援しませんか？

HSVN（葉山災害ボランティアネットワーク）では、継続的な被災地支援活動の一環として、「陸前高田市図書館夢プロジェクト」と「女川高白浜布草履組合」への協賛を葉山町のご協力のもとに行うこととなりました。



「陸前高田市図書館夢プロジェクト」

「陸前高田市図書館夢プロジェクト」は津波で流されてしまった図書館の再建を支援するプロジェクトです。

方法は簡単。不要になった書籍をお持ちください。何冊でも結構です。HSVNがそれをまとめて業者さんへ売却し、その代金を業者さんが陸前高田市へ寄付をしてくれるという、いわば間接的な寄付プロジェクトです。

不要な本を処分して図書館再建を応援できるって夢がありますよね。是非、ご協力ください。

（詳しい内容は<http://books-rikuzen.jp>でご確認ください）

注意！受け付けられない本があります！！

下記 ISBN のない本、百科事典、コンビニコミック、個人出版の本、マンガ雑誌、一般雑誌（週刊誌・月刊誌など）は取り扱いできません。



ISBN978-4-1234-5678-9

9870123456789

「女川高白浜布草履組合」

「女川高白浜布草履組合」は津波で家を失い仮設住宅に暮らすおばあちゃんたちが復興への道筋を探すなかで辿り着いたプロジェクトです。着古したTシャツを裂いて布草履に編み上げ、それを販売する事で自立への足がかりにしようという元気おばあちゃんたちの組合です。

この草履は鉤針で編み上げるという一味違った方法で作られるので、とてもしっかりした履き心地の草履ができます。

その材料となる着古したTシャツをお持ちください。責任をもって女川のおばあちゃんたちにお届けします。



綿Tシャツに限ります。

Tシャツは必ず洗濯済みをお持ちください。もちろん新品でも構いません。

できればダンボール箱もご提供いただければ助かります！

受付日：2013年1月～5月の第2・第4日曜日

1月13日、1月27日、2月10日、2月24日、3月10日、3月24日
4月14日、4月28日、5月12日、5月26日
（これ以外の日の受付はできませんのでご了承ください）

時間：10時～15時（HSVNのメンバーが受け付けます）

受付場所：葉山町教育総合センター2F「学びの広場」

葉山町堀内2050-9

問合せ Eメール hsvn77@yahoo.co.jp
☎877-4447（柿本）

詳しくは以下をご参照ください
ブログ：<http://hsvn.blog.fc2.com/>
フェイスブックページ：
<http://www.facebook.com/hsvn77>

主催：葉山災害ボランティアネットワーク

後援：葉山町

協力：葉山町社会福祉協議会

平成24年

秋の叙勲・褒章

11月3日に発表されました「平成24年秋の叙勲・褒章」で、葉山町では安達さんが授章されました。
おめでとうございます。



瑞宝単光章
安達 久男さん

過去の経歴等

昭和35年、神奈川県警察官を拝命し、以来37年余り奉職し、その大半を知能犯、凶悪犯および鑑識活動に専従し、県民の生活の安全と社会の秩序維持の確保に取り組んでまいりました。これもその力添えになってくださった地域社会の人たちの支えと協力があつたからこそ職務が達成できたと感じております。

アライグマ・台湾リス捕獲強化期間

冬は山の中に餌が乏しく、鳥獣が民家近くまで出てくるようになります。被害が起こりやすい一方、捕獲のチャンスでもあるため、1月から3月を捕獲強化期間とし、横須賀三浦地域の市町で一齐に捕獲を実施します。

■お庭の片隅に置き忘れていた捕獲器はありませんか？

冬の間にアライグマのオスはメスを探して、メスは出産場所を探して歩き回ります。試しに1週間仕掛けてみてください。

必須ポイント

- ・ 捕獲器の周囲を板や枝葉で隠す！
- ・ 入口付近に粒状のまき餌をまく！
- ・ ちゃんと作動するか確認する！

周りを板や枝葉で隠す



導火線のようにまきエサをする

■ユズゆずります

台湾リスは餌場に集まる習性があるので、1匹ずつ捕獲するよりも集めてから捕獲した方が効率よく数を減らせます。

環境課では捕獲用の餌としてユズをお配りしています。

また、まだ収穫していないユズやミカン、キウイがあれば、ご提供ください。

バッチリ捕獲方法

- ①捕獲しようとする場所（1mぐらいの高さの台や枝が良い）に餌を置いておく。
捕獲器にも餌を入れておくと良いが、入口が閉まらないように固定しておく。
- ②3～7日間ぐらい餌を補充しながら観察し、十分に集まってきたら、罠を作動させる。
- ③1日に何回も食べにくるので、こまめに交換してチャンスを逃がさないように！

捕獲した動物を各自で処分することは、感染症等の危険があるほか、動物福祉の観点からも控えてください。環境課にご連絡をいただければ、捕獲個体の引取りをします。閉庁日でも引取り可能なので、役場にご連絡ください。また、捕獲器を扱う際にはゴム手袋等をし、作業後はよく手を洗ってください。

※タヌキやイタチを町の許可なく捕獲することはできません。

問合せ 環境課 ☎内線453

表紙写真からのクイズ！ 広報はやま2012

あなたは町の1年を覚えていますか？

昨年の広報1月号から12月号の表紙写真と一緒に、町での出来事を振り返ります。途中に出てくるクイズに何問答えられるでしょうか？各号を見ながら考えてみましょう。正解は裏表紙をご覧ください。

広報紙に関する問合せは
企画調整課 ☎内線333まで



Q.1 どこから撮った富士山の写真でしょう？



Q.2 2012年の町での成人の数は何人？



Q.3 園児たちのうしろにあるものは何でしょう？



Q.4 何の講演会のようなのでしょうか？



Q.5 町の花でもあるこの花の名前は？



Q.6 あじさい公園から見える湾の名前は？



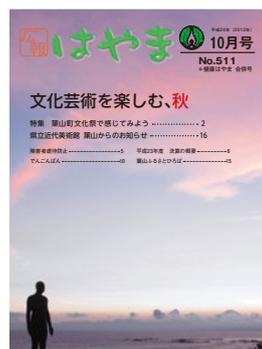
Q.7 花火大会の開催日はいつだった？



Q.8 今年の町の最高気温は何度だった？



Q.9 この号のテーマは何でしょう？



Q.10 この彫刻は誰の作品でしょう？



Q.11 特集で掲載された公園はどこでしょう？



Q.12 この写真は何をしているところでしょう？